

特別支援教育

学校教育目標

自らをきりひらく たくましい児童の育成

めざす児童像

知：自ら行動し、学び合う児童 〈かしこく〉

徳：思いやり、協働する児童 〈やさしく〉

体：心身ともに健康で、やりぬく児童 〈たくましく〉

特別支援教育目標

○教育的ニーズを持つ児童に対して、当該児童のもてる力を高めるため、実態及びその教育的ニーズを把握して、適切な教育や指導を通じて支援を行う。

特別支援教育の方針

- ・校内支援委員会を中心に、教職員が連携をもち、共通理解を図る。
- ・担任を中心に、保護者との連携を密にし、保護者の意見や思いを聞く。
- ・スクールカウンセラーや医療・福祉・教育センター等の関係機関と連携をとり、専門的判断や支援、アドバイスを受ける。

特別支援教育年間計画

- 4月：配慮を要する児童の交流（児童実態交流の時間を設定）、個別の教育支援計画作成
- 5月：配慮を要する児童の個別の指導計画作成
- 7月：1学期の評価、次年度の教育課程作成、教科書選定
- 8月：校内研修
- 9月：2学期はじめの実態把握、個別の指導計画、教育支援計画の見直し
- 12月：2学期の評価
- 1月：3学期はじめの実態把握、個別の指導計画、教育支援計画の見直し
- 2月：次年度の特別支援教育推進計画の検討、教育課程作成、教科書選定
- 3月：今年度の評価